

令和6年度

学校評価書



生活科: 幼保小交流 (1月: 雪遊び)



総合: 満開のひまわり畑(8月: 全校チャレンジ: 高館下)



総合: 田植え・稲刈り: 沖縄交流(10月: 5年生)



漁船乗船体験! 木古内訪問(7月: 6年生)



きりたんぽ祭り: 販売呼びかけ (10月: 1, 2年生)



カヌー体験 宿泊体感学習 I (6月: 4年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価日の 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね 良好	良好	環境面の維持・管理に関しては、不具合を早期に発見しながら改善に努力している。また、子どもたちの安全面、学習面、健康面等すべてにおけるこれまでの地域との連携は十分に評価できるし、保護者の評価も高い。架け橋プログラムのモデル地区としての成果も上げている。今後も学校運営に地域の協力を得ながら一体となって活動してほしい。
学校の評価改善の概要と	5年度に引き続き、トイレのタイルの老朽化による剥がれ落ちがあった。早めに業者対応した。安全点検の際にタイルはじめ不具合があった場合には、先生方の協力で即時に報告してもらい、校務主事をお願いして危険回避できたことがよかった。次年度も安全点検をもとに計画的に環境整備をしていきたい。家庭への情報発信については、早めの情報提供や、見通しのもてるお知らせ等、保護者の安全安心を考慮していく必要がある。クラブ活動の講師や学習支援、環境整備など、地域の方々にたくさん協力をいただいた。今後も継続していくと共に、PTAの協力、活性化も図っていきたい。PTA研修会は、メディアに関する講話を親子で聞く機会ももてた。昨今の課題に合わせた講話ができた。幼保小の交流はかなり充実した。モデル学区としての役割を終えるが、継続できるような交流になるように精選したい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	3
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修	
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内	3
	(4) 幼・保・小・中等、関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流や授業参観、保育参観、連携研究会の実施	

□保護者 ■教職員

[1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること]

・今年度、修繕した箇所、設置された備品関係

①体育館連絡通路の天井修繕(雨漏り防止)・昨年度の要望より

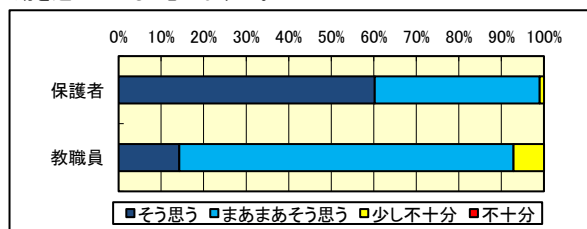


②トイレの壁(タイル)剥がれ修理(昨年度に引き続き)



[2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

□ ■ 学校は、諸活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の方々、保育園や子ども園と連携しながら活動を進めていると思いますか。



登下校見守りに関わって、交通安全釈迦内支部の皆さん、民生委員の皆さんとの顔合わせ



幼・保・小・中との連携

関係諸団体との連携強化と教育力の活用



架け橋プログラム
音楽を通じた授業交流



読み聞かせボランティア
(おはなしの森)



地域人材の活用
水泳外部指導者



家庭科ボランティア
(地域支援コーディネーターを中心)

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	良好	新たに会社組織で運営し、150周年と併せた今年度の企画は斬新であった。特に、子どもたちの発想を大事に進めていったことは評価できる。感謝祭でも子どもたちの主体性が発揮され、もてなす気持ちが伝わる活動であった。児童主体とは言え、地域の協力体制もこれまで通り継続されていて万全の体制である。今後もよさを引き継いでほしい。

改学校評価の概要と学校の

今年度のひまわり活動の大きな特徴は、「ひまわりプロジェクトカンパニー」という会社組織として取り組んだことである。会社には5つの部門を設け、それぞれに3～6年を縦割りで所属を決めた。縦割り活動を行いやすくするために、3～6年の総合的な学習の時間を同一曜日、同一校時に設定し取り組んだ。それぞれの部門で6年生がリーダーシップを発揮し、商品開発やイベントなど自主的な取り組みがなされた。また、部門の代表者が集まって行う「取締役会」では、積極的な意見交換がなされ、児童の成長が感じられた。ひまわり活動を通してどんな児童像に迫るのか等まだまだ課題は多いが、このスタイルでの活動は継続したい。

幼保小架け橋交流では、今年も年間を通して様々な活動で交流を進めることができた。また、小中の交流では、運動会での入場行進の生演奏や競技役員の手伝い、その後の職場体験、6年生の体験入学などを行った。さらに嘉手納町や渋谷との交流も行い、児童の視野を広げることができた。

ひまわり活動を含め学校の諸活動で、地域の方々から今年も協力を得ることができた。児童・職員だけでは手が足りないことも多く大変助かっている。児童にとっても地域を知る、人を知る上でも今後も継続して協力をお願いしたい取り組みである。

働き方改革の一つとして、校務処理週間等を設けたり、40分授業を施行したりした。職員から寄せられた改善点等を参考にして、今後も業務改善に取り組みたい。

	実践課題	主な取組	学校評価B
3 ふるさとつながるひまわり活動	(5) 特色ある教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト 	3
	(6) なりたい自分をイメージし、前向きに挑戦する心を育む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年、地域の人、保護者との交流 ・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・キャリアの視点を踏まえた振り返り 	

○児童 □保護者 ■教職員

[3(5)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

○ひまわり活動を通して、友達や地域の人、周りの人々の良さを見つけることができましたか。

□学校は、児童の発想や願い、問いを生かして、児童主体のひまわり活動を行うことができていると思いますか。

■付けたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。

[3(6)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

○ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。

□学校は、異学年や保護者、地域の方々との交流を通して、児童に自分を成長させようという気持ちや、協力してくれる方々への感謝の気持ちを育むことができていると思いますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

児童

保護者

教職員

■ そう思う ■ まあまあそう思う ■ 少し不十分 ■ 不十分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

児童

保護者

■ そう思う ■ まあまあそう思う ■ 少し不十分 ■ 不十分



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	地域でのあいさつはとてもよく、地域が元気をもらっている。一方では、あいさつは今ひとつという意見もある。学校ではあいさつ運動や友達同士のよさの発見、縦割り活動等、心を育む対策が十分に行われている。今後は一人一人がより自覚をもって学校以外でも力が発揮できるよう進めてほしい。

と学校評価の価値の善概要
 4ー(7)学校のルールやマナーに関しては、児童の「できている、頑張っている」という意識と、保護者や教職員が目指したいところに差があることが数値としても表れている。挨拶運動など委員会や学年で取り組んでいることで意識は高まっているが、それが普段使ってきているかというところに課題がある。高めた意識や身に付けたスキルが日々表現できるような取組を考えていく必要がある。4ー(8)および5ー(9)集会等で自分の言葉で表現したり伝えたりしようとする児童が増えてきた。決まった児童だけが前に出るのではなく、「自分も表現することに挑戦してみたい」と思える環境として、居心地よく認め合える場づくりだと考える。そのため教育相談では、全員面談を継続し児童理解に努めることで積極的な生徒指導ができるようにしていきたい。また、異学年交流として「いいの日」などの縦割り班活動の場を設定しているが、高学年のリーダーシップを育てる場として大切にしたい。しかし異学年との接し方、言葉使いについては、学年に合わせた指導をする必要がある。5ー(10)交通安全指導員の方や校外環境部、保護者の方の力を借りて、登校指導等を行っているので、情報交換をしながら今後も続けていきたい。避難訓練については、「訓練のための訓練」にならないよう、児童が自分事として実践できるよう見直しを図りたい。

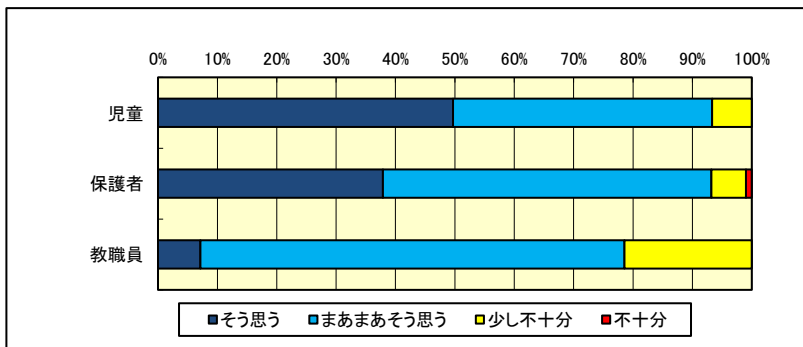
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり	(7) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・あいさつ運動の言葉遣い指導	3
	(8) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、全校朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的な活動の助長 ・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(9) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・教育相談の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常的教育相談活動 自他のよさを見付ける場の設定	3
	(10) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日 ・交通安全指導 ・避難訓練 ・交通安全教室の実施	

○児童 □保護者 ■教職員

[4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり に関するデータ]

【空き缶・プルタブ集めの呼びかけ】

- 「さくらんジャーの合言葉」を意識して、あいさつや言葉づかい、校内のルールや、交通安全のルールを守ることができましたか。
- 子どもたちに学校生活や交通安全についての指導を徹底していますが、元気なあいさつや返事、ルールを守ろうとする気持ちが身に付いていると思いますか。
- 「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。

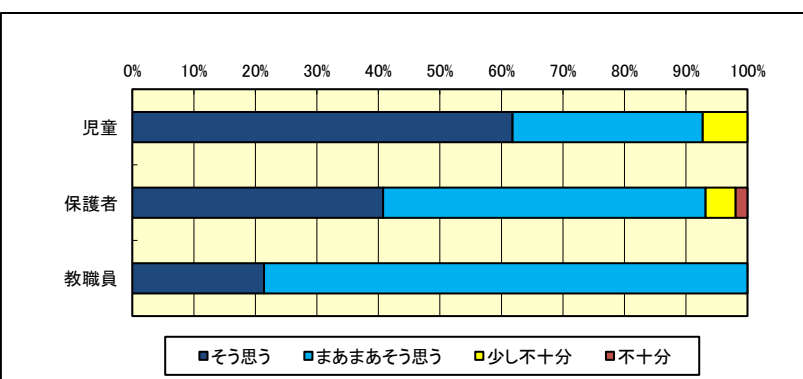


【全校朝会 委員会からのお知らせ】



[5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ]

- 自分や友達のよいところを見つけたり、周りの人たちに「ありがとう」の気持ちを伝えたりすることができましたか。(BBカード・帰りの会のいいところ探し等)
- 友達の優しさやよさ、がんばりを認め合う場を設定したり、カードで伝えたりしていますが、子どもたちには思いやりの気持ちが育まれていると思いますか。
- 相談活動の設定や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



【あいさつ運動】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

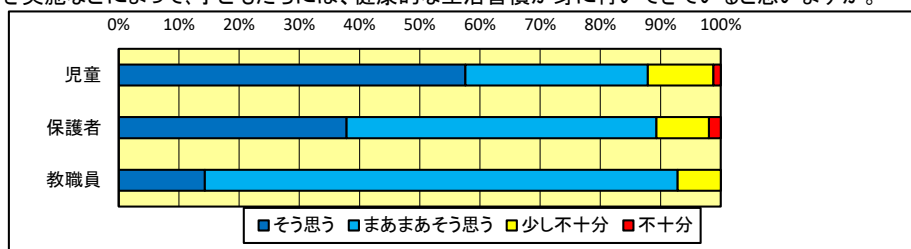
児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動にすすんで取り組み、体力の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	メディアとの関わり等、健康的な生活に関する課題は、まだまだ継続して取り組んでいかなければならないと感じる。学校や北陽学区での取組を今後も家庭に向けて積極的に発信し、家庭との連携・協力の必要性を呼びかけながら実践してほしい。
学学校の評価改善の概要と	<p>6(11)「メディアコントロール」→北陽・国情中学区で連携して取り組むことで、メディア利用の意識を高めることができた。しかし、学年が上がるにつれて自分専用のタブレットやスマートフォンを持つ児童が増え、メディアコントロールの難しさを感じる。家庭の協力はもちろん、児童自身がメディアコントロールの重要性に気付くために、メディアコントロール週間だけでなく、長期休み前や道徳の学習の時間などの機会を活用しながら、繰り返し指導していくことを心がけたい。</p> <p>6(11)「歯磨き・手洗い」→歯磨き指導は、学校歯科医に依頼して1・4年生を対象に実施した。PTAに合わせて実施したことで多くの保護者が参加し、親子で歯磨きの重要性や正しい歯磨きの仕方を効果的に学ぶことができた。手洗い場の石鹸・アルコール補充の確認は子どもだけでは不十分のため、今後は職員も協力することで確実に補充できるようにしたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
6 健康的な生活習慣づくり	(11) 健康的・衛生的な生活の習慣化	健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など) 清掃指導	3
	(12) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、学校栄養教諭との連携を図った食育授業	
7 体力づくり	(13) 継続的な体力づくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施データ分析と各学年の重点強化	3
	(14) 体育行事の充実	・目標を持たせた事前事後指導 ・友達と協力して取り組む態度の育成	

○児童 □保護者 ■教職員

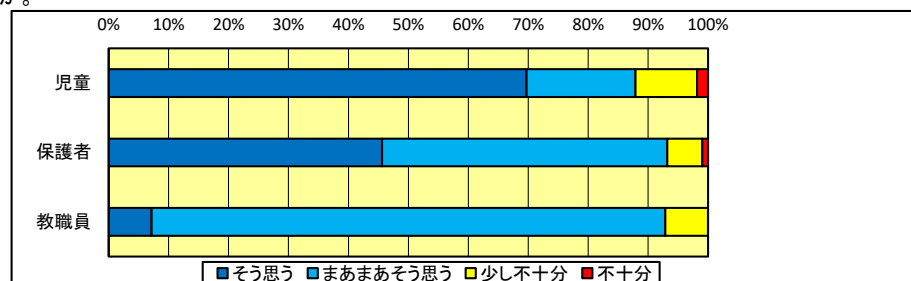
[6(11)(12)健康的な生活習慣に関するデータ]

- 歯みがき、手洗い、ハンカチの持ち歩きに気を付けて生活したり、給食をすきらいせず食べたりできましたか。
□■栄養教諭による食育指導や、児童委員会による熱中症予防、虫歯予防、メディアコントロール週間の実施、ハンカチ携帯、歯みがき実施などによって、子どもたちには、健康的な生活習慣が身に付いてきていると思いますか。



[7(13)(14)体力に関するデータ]

- マラソンや外遊びなど進んで体力づくりをすることができましたか。
□■体力向上のためにマラソンの実施や外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



食育授業



親子歯みがき教室



マラソンタイム



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

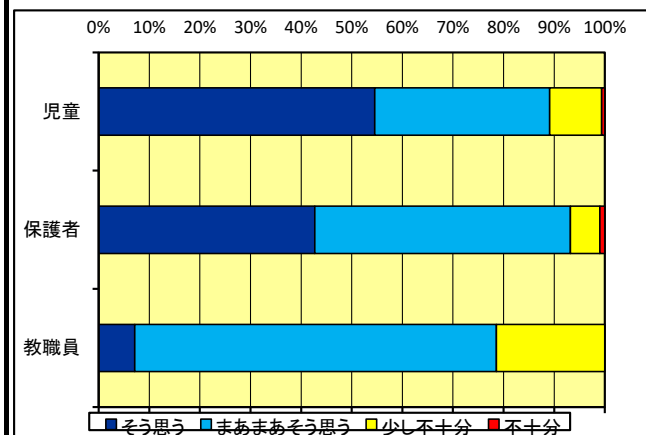
児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協働的に学び合う学び合い授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	学力の定着に関しては、研究推進の中で、発表や反応など、『学習のやくそく』に基づいて学習習慣が身に付いてきており、学校としての取組を評価したい。言葉や文で表現する力の低下は、メディアに関わる読書時間の低下やタブレットの活用からきているのではないかと考え、学校としての学力向上の取組は十分であるため、少しずつでも成果が上がればよいと考え、粘り強く取り組んでほしい。
学校の評価改善の概要と	今年度は、教育専門監が定期的に来校し、授業づくりや学力向上に向けての指導助言をいただいた。「学びのオリエンテーション」を上学年・下学年で実施し、基本的な学習習慣の徹底を図った。学級だけではなく、全校集会でも話の聞き方などの学習習慣が身に付いてきたことの効果が見られた。また、自分の考えを出し合い、学び合う「ひまわりタイム」を大切に授業づくりにも取り組んだ。今年度教育専門監から学んだことを次年度も継続し、児童の学びに生かしていきたい。読書活動では、栗盛記念図書館の司書訪問を活用し、本の修繕や登録作業、環境整備を行った。栗盛記念図書館と連携して、月1回の週末読書でも栗盛記念図書館の本を活用し、様々な本に触れる機会を設けた。現在図書貸出しシステムのバーコード化を進めており、今後児童が本に親しめる環境を整えていきたい。今年度は、朝の時間に計算タイムを設け、全校同じ問題に取り組んだ。正確さとスピードを意識した計算力の定着を目指し、児童が意欲的に取り組んだ。また、県学習状況調査やORT検査に向けたパワーアップ学習を実施し、学校全体の学力向上に努めた。言葉で説明したり文章でまとめる問題に対して、どの学年でも低い傾向が見られたため、今年度中に定着できる内容を増やして次年度につなげたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
8 基本的学習習慣の形成	(15) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介	3
	(16) 読書活動の充実	・図書の活用 ・週末読書 ・読書タイムや読み聞かせの充実	
9 確かな学力	(17) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実	3
	(18) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導	

[8(15)学習習慣の形成のデータ]

基本的学習習慣の形成

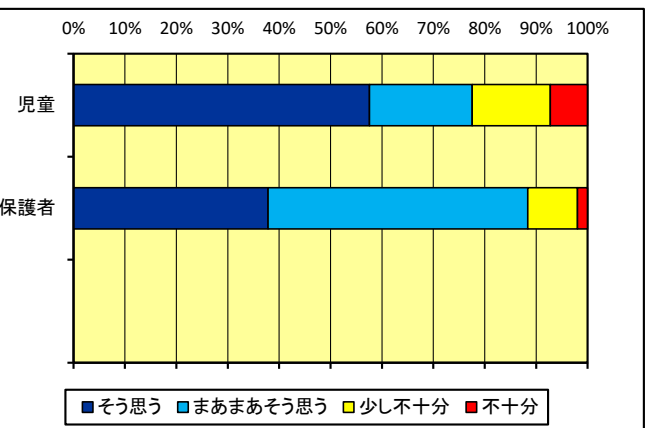
○ 家庭学習を続けたり、授業の学び合いができましたか。
 学校は、ノート展の実施や「家庭学習の手引き」を活用し、学力の仕方を指導していますが、子どもたちは、学習する習慣が身に付いていると思いますか。



[8(16)読書活動の充実のデータ]

読書の奨励

○ 図書館を利用したり、進んで読書をしたりすることができましたか。
 学校は、読書を奨励するため、朝や昼の読書タイムや月一回のおうちで読書、読み聞かせボランティアの活用などの取組をしていますが、子どもたちの読書への関心は高まってきていると思いますか。



【読み聞かせボランティア「お話の森」】 【全校で学びの約束の確認】

【自分の考えを交流】

【ICT活用の国語の授業】

令和6年度 学校評価一覧			大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)					
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成			重点 なりたい自分に向かって 前向きに挑戦する子ども 2024 合言葉「ひまわりのように明るく」					
人間 的 基 礎 力・ 大 館 市 民 基 礎 力・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I II III IV V	学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね良好	良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用						(2) 教育活動に生きた事務運営と施設設備の管理	・学年・学級会計事務の効率化 ・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修	
特色ある学校づくり (教務・ひまわりPT)		ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	良好	3 ふるさととつながるひまわり活動	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内	3
					(4) 幼・保・小・中等、関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流や授業参観、保育参観、連携研究会の実施		
児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)		「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり	(5) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年および会社組織でのひまわりプロジェクト	3
					5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(6) なりたい自分をイメージし、前向きに挑戦する心を育む活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・キャリアの視点を踏まえた振り返り	
					(7) 「意識化ー見取りー称揚ー定着」のサイクルを徹底した基本的な生活習慣づくり	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・あいさつ運動の工夫		
健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育指導部)		より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	6 健康的な生活習慣づくり	(8) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	3
					7 体力づくり	(9) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・教育相談の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常的教育相談活動 ・自他のよさを見付けられる場の設定	
					(10) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日 ・朝の交通安全指導 ・避難訓練 ・交通安全教室の実施		
	(11) 健康的・衛生的な生活の習慣化				・健康状態の把握及び指導(歯磨き・手洗い・メディアコントロール指導など) ・清掃指導			
自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	子どもたちが共感的・協働的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	8 基本的学習習慣の形成	(12) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・食育指導、学校栄養士との連携を図った食育授業	3	
				9 確かな学力	(13) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施 ・データ分析と各学年の重点強化		
				(14) 体育行事の充実	・目標を持たせた事前事後指導 ・友達と協力して取り組む態度の育成			
				(15) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介			
				10 確かな学力	(16) 読書活動の充実	・図書室の活用 ・週末読書 ・読書タイムや読み聞かせの充実	3	
				(17) 主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実			
					(18) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置 ・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・各種検査の分析と回復指導		